

## 佐藤 大介さん（平成4年卒）

大和接骨院 院長

### ◇お仕事の内容を教えてください

内容は、

- 1、骨折、脱臼、捻挫、挫傷といったケガへの施術。
- 2、負傷原因が特定できない痛みの中で、体の筋力バランスの乱れなどに由来する症状への施術。
- 3、スポーツアスリートの試合前のコンディショニングとケガをした後のスポーツ現場復帰までのトレーニング指導などです。

### ◇仕事を通じどんなことに喜びを感じますか

当院に来院される患者さん達は、痛みや不調などの症状に悩まされ、不安を感じています。

当院での施術を通じ、患者さん達の抱える問題が解消されたとき、患者さんからは治療代を頂戴し、さらに感謝の気持ちも伝えて頂きます。人から必要とされる喜びを感じる事ができるのは、この上ない生き甲斐であり、仕事のやりがいでもあります。

大和接骨院の院是は「一人でも多くの国民が健康で幸せな生活を送れるように全力で支援する」です。

人の喜びが私の喜びであり、幸せな人が増えるほど私自身も幸せになっていくと考えています。



### ◇将来の夢を教えてください

一つの接骨院として機能を向上させていくことはもちろんですが、当院を人間力の形成を元とした地域から必要とされる柔道整復師の研修施設にしたいという夢があります。人間力に溢れた柔道整復師が、地域の活力となり、それぞれの地域から必要とされる人材となって、地域社会に貢献していく。一人でも多くの国民が健康で幸せな生活を送れるよう全力で支援していくという大和接骨院の院是にも繋がっていく、これが私の夢です。

### ◇専大北上高校ではどんな高校生活を過ごされましたか

勉強しかならない高校生活でした。第一志望の高校に入れなかった私は、反骨精神から毎日7～8時間ほど勉強しました。当時は悔しい思いもしましたが、「人間万事塞翁が馬」という言葉の通りに、あの時の挫折が無ければ今の私は無いと今では挫折に感謝すらしています。

今にしてみれば、でたらめな勉強法でしたが、その後の人生で勉強することで苦労しなかったのは高校時代の「質を理解するまでの量をこなす勉強法」のおかげだと思います。挫折のない人生よりも何度挫折しても立ち上がれる人生が私の理想です。過去の自分を肯定できるから、今の自分も好きでいられるのだと思います。

### ◇専北生に伝えたいメッセージは何ですか

「何の為に勉強するのか?」「何の為にスポーツするのか?」「この練習は、何の為にやっているのか?」「何の為に大学に行くのか?」「何の為に働くのか?」今、自分がやっていること、これからやろうとしていることに対して「何の為に?」を意識して取り組んでもらいたいと思います。(次ページに続きます)

私も高校時代、大学に行きたいという想いは強くありましたが、いつの間にか大学に行くことそれ自体が目標になってしまい、大学に入学してから迷走した苦い経験があります。

確かに進路は大事ですが、何の為にそこに行くのか？そこで何をするのか？大学が決してゴールではなく、自分が目指すべきゴール（なりたい自分になる）に行くための大学であると知ってほしいです。

いつでも「何の為に」を意識していると、練習も勉強も進路もぶれることがなくなると思います。高校で見つけられなければ、進学先や就職先で諦めずに自分だけの「何の為に」を見つけてください。

滅私奉公という言葉もあります。自分以外の誰かを幸せにするために働くことが出来たなら、きっと自分も幸せに生きていけると思います。

専大北上高校を卒業される皆様が、家庭から、職場から、地域社会から、それぞれ必要とされる人材となられることを心より祈念しております。

\*\*\*\*\*

#### ☆取材後記

本校の運動部生徒のケガ治療等をサポートして下さっている佐藤さん。

ケガを負ってしまったり、体に不調のある生徒は、気持ちがマイナスに傾いていることも多いため、治療は施術に留まらず、悩み相談や人生相談に及ぶこともあるとのこと。

専北時代も含め、挫折を経験されたご自身の経験をベースに生徒の様々な相談に対応して下さいとのことでした。

佐藤さん、これからもよろしくお願い致します。（担当：Y）